
IV.参考資料

- 1.集計表（回答者の属性）
- 2.調査票

1.集計表

回答者の属性

回答者の属性

1.性別

	男性	女性	その他	無回答	全体
実数	670	1,022	1	28	1,721
割合(%)	38.9	59.4	0.1	1.6	100

2.年齢

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	全体
実数	153	259	315	310	331	321	32	1,721
割合(%)	8.9	15	18.3	18	19.2	18.7	1.9	100

3.職業

	正社員 (一般職)	正社員 (技術職)	管理職・ 会社役員	公務員	契約社員・派 遣社員	常勤パートタ イマー	臨時・ アルバイト	内職
実数	348	105	87	124	118	187	69	3
割合(%)	20.2	6.1	5.1	7.2	6.9	10.9	4	0.2

	農業・林業・ 漁業	商工業・サー ビス業	自由業（開 業医師、弁護 士、芸術家な ど）	主夫・主婦	学生	無職	無回答	全体
実数	36	88	44	138	30	251	93	1,721
割合(%)	2.1	5.1	2.6	8	1.7	14.6	5.4	100

4.婚姻状況

	結婚 している	結婚してい ないがパート と暮らしている	離別	死別	未婚	無回答	全体
実数	1,120	45	132	56	330	38	1,721
割合(%)	65.1	2.6	7.7	3.3	19.2	2.2	100

5.配偶者（パートナー）の職業

	自営業	雇用者（常 勤：フルタイ ム）	雇用者（非 常勤：パート ・アルバイト）	無職	無回答	全体
実数	177	486	127	315	616	1,721
割合(%)	10.3	28.2	7.4	18.3	35.8	100

6.子どもの有無

	いる	子どもは いない	無回答	全体
実数	177	520	1,024	1,721
割合(%)	10.3	30.2	59.5	100

7.子どもの人数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	全体
実数	24	72	47	18	7	3	6	177
割合(%)	13.6	40.7	26.6	10.2	4.0	1.7	3.4	100.0

8.世帯構成

	単身世帯 (1人)	夫婦（パート ナー）のみ	親と子ども	親と子どもと孫	その他	無回答	全体
実数	210	444	762	103	140	62	1,721
割合(%)	12.2	25.8	44.3	6	8.1	3.6	100

9.市町村別・回収状況

	市町村	配布数	回収数	割合 (%)	回収率	男性	構成比 (%)	女性	構成比 (%)
1	那覇市	1,668	399	23.2	23.9	168	42.1	231	57.9
2	宜野湾市	503	122	7.1	24.3	51	41.8	71	58.2
3	石垣市	254	59	3.4	23.2	19	32.2	40	67.8
4	浦添市	585	121	7.0	20.7	52	43.0	69	57.0
5	名護市	319	104	6.0	32.6	48	46.2	56	53.8
6	糸満市	312	52	3.0	16.7	21	40.4	31	59.6
7	沖縄市	717	144	8.4	20.1	64	44.4	80	55.6
8	豊見城市	325	58	3.4	17.8	22	37.9	36	62.1
9	うるま市	628	108	6.3	17.2	45	41.7	63	58.3
10	宮古島市	277	52	3.0	18.8	18	34.6	34	65.4
11	南城市	222	56	3.3	25.2	21	37.5	35	62.5
12	国頭村	24	2	0.1	8.3	0	0.0	2	100.0
13	大宜味村	16	7	0.4	43.8	2	28.6	5	71.4
14	東村	9	1	0.1	11.1	0	0.0	1	100.0
15	今帰仁村	47	14	0.8	29.8	5	35.7	9	64.3
16	本部町	68	17	1.0	25.0	4	23.5	13	76.5
17	恩納村	53	17	1.0	32.1	6	35.3	11	64.7
18	宜野座村	30	8	0.5	26.7	3	37.5	5	62.5
19	金武町	57	11	0.6	19.3	4	36.4	7	63.6
20	伊江村	23	2	0.1	8.7	0	0.0	2	100.0
21	読谷村	208	62	3.6	29.8	25	40.3	37	59.7
22	嘉手納町	67	19	1.1	28.4	5	26.3	14	73.7
23	北谷町	144	39	2.3	27.1	15	38.5	24	61.5
24	北中城村	87	27	1.6	31.0	10	37.0	17	63.0
25	中城村	107	21	1.2	19.6	11	52.4	10	47.6
26	西原町	181	66	3.8	36.5	28	42.4	38	57.6
27	与那原町	101	19	1.1	18.8	4	21.1	15	78.9
28	南風原町	197	52	3.0	26.4	23	44.2	29	55.8
29	渡嘉敷村	4	0	0.0	0.0	0	-	0	-
30	座間味村	5	1	0.1	20.0	1	100.0	0	0.0
31	粟国村	3	0	0.0	0.0	0	-	0	-
32	渡名喜村	2	0	0.0	0.0	0	-	0	-
33	南大東村	6	1	0.1	16.7	1	100.0	0	0.0
34	北大東村	3	1	0.1	33.3	0	0.0	1	100.0
35	伊平屋村	6	1	0.1	16.7	1	100.0	0	0.0
36	伊是名村	7	2	0.1	28.6	0	0.0	2	100.0
37	久米島町	40	6	0.3	15.0	4	66.7	2	33.3
38	八重瀬町	158	41	2.4	25.9	16	39.0	25	61.0
39	多良間村	6	0	0.0	0.0	0	-	0	-
40	竹富町	22	8	0.5	36.4	2	25.0	6	75.0
41	与那国町	9	1	0.1	11.1	0	0.0	1	100.0
	合計	7,500	1,721	100.0	22.9	699	40.6	1022	59.4

回答者の属性

1.性別・年齢

	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体	1,721	153	259	315	310	331	321	32
	100	8.9	15	18.3	18	19.2	18.7	1.9
男性	670	56	99	107	116	131	153	8
	100	8.4	14.8	16	17.3	19.6	22.8	1.2
女性	1,022	96	160	208	194	197	164	3
	100	9.4	15.7	20.4	19	19.3	16	0.3

2.職業

	合計	正社員 (一般職)	正社員 (技術職)	管理職・ 会社役員	公務員	契約社員・派 遣社員	常勤パートタ イマー	臨時・ アルバイト
全体	1,721	348	105	87	124	118	187	69
	100	20.2	6.1	5.1	7.2	6.9	10.9	4
男性	670	151	59	59	69	43	22	18
	100	22.5	8.8	8.8	10.3	6.4	3.3	2.7
女性	1,022	196	46	28	55	75	165	50
	100	19.2	4.5	2.7	5.4	7.3	16.1	4.9

	内職	農業・林業・ 漁業	商工業・サー ビス業	自由業（開 業医師、弁護 士、芸術家な ど）	主夫・主婦	学生	無職	無回答
全体	3	36	88	44	138	30	251	93
	0.2	2.1	5.1	2.6	8	1.7	14.6	5.4
男性	-	16	32	25	1	12	136	27
	-	2.4	4.8	3.7	0.1	1.8	20.3	4
女性	3	20	55	19	135	18	112	45
	0.3	2	5.4	1.9	13.2	1.8	11	4.4

3.婚姻状況

	合計	結婚 している	結婚していな いがパートナー と暮らしている	離別	死別	未婚	無回答
全体	1,721	1,120	45	132	56	330	38
	100	65.1	2.6	7.7	3.3	19.2	2.2
男性	670	464	17	32	8	137	12
	100	69.3	2.5	4.8	1.2	20.4	1.8
女性	1,022	650	28	99	47	191	7
	100	63.6	2.7	9.7	4.6	18.7	0.7

4.配偶者職業

	合計	自営業	雇用者（常 勤：フルタイ ム）	雇用者（非 常勤：パート・ アルバイト）	無職	無回答
全体	1,721	177	486	127	315	616
	100	10.3	28.2	7.4	18.3	35.8
男性	670	37	147	83	181	222
	100	5.5	21.9	12.4	27	33.1
女性	1,022	139	339	43	131	370
	100	13.6	33.2	4.2	12.8	36.2

5.子どもの有無

	合計	いる	子どもは いない	無回答
全体	1,721	177	520	1,024
	100	10.3	30.2	59.5
男性	670	53	206	411
	100	7.9	30.7	61.3
女性	1,022	124	311	587
	100	12.1	30.4	57.4

6.子どもの人数

	合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	177	24	72	47	18	7	3	6
	100	13.6	40.7	26.6	10.2	4.0	1.7	3.4
男性	46	7	13	17	4	2	1	2
	100.0	15.2	28.3	37.0	8.7	4.3	2.2	4.3
女性	131	17	59	30	14	5	2	4
	100.0	13.0	45.0	22.9	10.7	3.8	1.5	3.1

7.世帯構成

	合計	単身世帯 (1人)	夫婦(パート ナー)のみ	親と子ども	親と子どもと孫	その他	無回答
全体	1,721	210	444	762	103	140	62
	100	12.2	25.8	44.3	6	8.1	3.6
男性	670	82	192	288	42	48	18
	100	12.2	28.7	43	6.3	7.2	2.7
女性	1,022	127	249	469	61	91	25
	100	12.4	24.4	45.9	6	8.9	2.4

2. 調査票

男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査

日ごろより県政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成 11 年6月に「男女共同参画社会基本法」が施行された後、国においては男女共同参画基本計画が制定され、社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが推進されています。

沖縄県においても、基本法の趣旨、理念の実現を踏まえ、「沖縄県男女共同参画計画」を数次にわたり策定し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みをしているところです。

本調査は、令和 4 年度からスタートする「第 6 次沖縄県男女共同参画計画」の策定に向け、県民の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、現行の県計画の見直しや今後の施策を検討する上で基礎資料とするため実施するものです。

つきましては、ご多忙中に恐れ入りますが、本調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、個別に利用されることや個人が特定されることはありません。

令和 2 年 8 月

沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課

〈男女共同参画社会とは〉

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」（男女共同参画社会基本法第 2 条）

アンケート記入上の願い

- 当てはまる選択肢を○で囲むか、記号などをご記入下さい。
- 「ひとつ選ぶ」、「○はいくつでも」などの注意書きに沿ってご回答ください。
- 「その他」などの記入欄については、ご自由にお気持ちなどをご記入下さい。
- ご記入頂いたアンケート票は、同封の返信用封筒にてご返送をお願いいたします。切手を貼る必要はございません。
- また、下記 URL にアクセスするか、QR コードを読み込むことで、インターネットからもご回答も頂けます。

https://rsch.jp/eqt6/?212681_asp



- 回答の返送（インターネットでの回答）につきましては、令和 2 年 9 月 7 日（月）までに、投函もしくはインターネットでのご回答をお願いします。
- アンケート調査につきましては、下記担当者までご連絡下さい。

調査委託先 : (株)アドスタッフ博報堂・(株)MEDIAFLAG 沖縄共同企業体

問合せ先 : 男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査 事務局

(株)MEDIAFLAG 沖縄 担当 : 大西 0980-50-0144

男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次にあげるア～クまでの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

	男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば 男性が優遇 されている	平等	どちらかと 言えば 女性が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない
ア 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 地域活動・社会活動の場では	1	2	3	4	5	6
オ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
カ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
キ 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
ク 社会全体的でみた場合	1	2	3	4	5	6

問2 「トートーメー（位牌）は長男が継ぐべきだ」という考えがあります。あなたの考えに近いものは何ですか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 長男に限る | 5. 誰が継いでもよい |
| 2. 血縁の男子に限る | 6. トートーメーは継ぐ必要はない |
| 3. 血縁なら女子でもいい | 7. その他（具体的に) |
| 4. それぞれの家に任せるべきである | 8. わからない |

問2-1 あなた自身や親族等では、実際にどのようにトートーメーが継がれていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 長男が継いでいる | 5. 誰が継いでもよいことになっている |
| 2. 血縁の男子が継いでいる | 6. トートーメーはあるが、継いでいない |
| 3. 血縁の女子が継いでいる | 7. その他（具体的に) |
| 4. それぞれの家で判断している | 8. トートーメーはない |

問3 子どものいる方も、いない方もお答え下さい。男の子、女の子に受けさせたい教育程度は次のうちどれですか。男の子、女の子それぞれについて1つ選んでください。

男の子の場合

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専門・専修学校
4. 短期大学・高等専門学校
5. 大学・大学院
6. その他 ()

女の子の場合

1. 中学校
2. 高等学校
3. 専門・専修学校
4. 短期大学・高等専門学校
5. 大学・大学院
6. その他 ()

家庭生活について

【現在、配偶者のいる方におたずねします。】

問4 あなたの家庭では、ア～クの家庭内の事柄を主にどなたが行っていますか。
ア～クについて、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

	主に夫が行う	主に夫が行い、妻が一部分担	夫と妻が同じ程度分担	主に妻が行い、夫が一部分担	主に妻が行う	その他又は非該当
ア 家計を支える(生活費をかせぐ)	1	2	3	4	5	6
イ 家事をする(掃除・洗濯・炊事)	1	2	3	4	5	6
ウ 家計の管理	1	2	3	4	5	6
エ 子どもの世話・しつけ	1	2	3	4	5	6
オ 病人・老親の世話(介護)	1	2	3	4	5	6
カ 子どもの教育方針・進学の設定	1	2	3	4	5	6
キ 高額商品の購入(不動産等)	1	2	3	4	5	6
ク 家庭の問題の最終的な決定	1	2	3	4	5	6

問4-(2) また、あなたは、問4のア～クまでの事柄について、配偶者にもっとやってもらいたいことは何ですか。ア～クの中から3つまで選んでください。
現状で満足している場合は「特になし・現状で満足している」の□に✓を入れて下さい。

配偶者にもっとやってもらいたいこと	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
特になし・現状で満足している	<input type="checkbox"/>		

問5 結婚や家庭生活に関するア～オの事項について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
ア 結婚は個人の自由であるから、結婚はしてもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
ウ 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
エ 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
オ 夫婦が別々の姓を名乗ること(選択的夫婦別姓)を、認める方がよい	1	2	3	4	5

問6 近年、子どもの出生数が減少していますがその原因は何だと思いますか。

あてはまると思うものと、あなた自身あてはまるものをそれぞれ3つまで選んでください。

1. 子育てや教育にお金がかかるから
2. 育児の心理的・肉体的負担がかかるから
3. 仕事と子育ての両立が困難だから
4. 自分の自由な時間が持てなくなるから
5. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
6. 結婚年齢が上がり、出産を躊躇するから
7. 結婚しない人もいるから
8. 子どもが欲しくない人もいるから
9. 子どもが欲しいけれども妊娠しない人もいるから
10. 子どもがのびのびと育つ社会環境ではないから
11. 国・県などの子育て支援策が不十分だから
12. その他（具体的に)

ア. あてはまると思う
ものを左記から3つ以内

--	--	--

問7 あなたは今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間で家事などの分担をするよう十分に話し合うこと
4. 職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても理解し、支援すること
5. 労働時間の短縮や育児休業や介護休業などの休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること。
6. 社会の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動についても、その評価を高めること
7. 国や地方公共団体などの研修等により、男性の家事や育児、介護等の技能を高めること
8. 男性が育児や介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りを進めること
9. 家庭生活と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
10. 特に必要なことはない
11. その他（具体的に)

問8 あなたご自身の経験に照らして、次にあげることがらについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
(1) 男性の家事への参加は以前より、進んでいる	1	2	3	4	5
(2) 男性の子育てへの参加は以前より、進んでいる	1	2	3	4	5
(3) 男性の介護への参加は以前より、進んでいる	1	2	3	4	5

仕事について

問9 一般的に、女性が仕事を持つことについて、どうお考えですか。(○は1つだけ)

1. 女性は仕事をもたない方がよい
2. 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい
3. 結婚して子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
4. 結婚、出産に関わらず、ずっと仕事をもっている方がよい
5. 子どもが出来たら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
6. その他(具体的に)
7. わからない

【現在、働いている方におたずねします。(そうでない方は問13へ)】

問10 あなたが働いているのは何のためですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 社会に役に立ちたいため | 2. 自分の能力、技術を活かすため |
| 3. 視野を広めるため | 4. 時間的に余裕があるから |
| 5. 働くのは当たり前だから | 6. 家業だから |
| 7. 生計を維持するため | 8. 子どもの教育費のため |
| 9. 住宅資金を貯めたり、ローン返済のため | 10. 老後の蓄えのため |
| 11. 自分の自由に使えるお金が欲しいため | 12. 家族旅行など、レジャー資金のため |
| 13. その他(具体的に) | |

問11 あなたの職場では、次にあげるア～カについて性別によって差があると思いますか。それぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

	男性の方が 優遇されている	どちらかと 言えば 男性が優遇 されている	平等	どちらかと 言えば 女性が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない
ア 募集や採用時	1	2	3	4	5	6
イ 賃金・昇進・昇格	1	2	3	4	5	6
ウ 人事配置	1	2	3	4	5	6
エ 教育や研修制度	1	2	3	4	5	6
オ 仕事の内容	1	2	3	4	5	6
カ 全体的に	1	2	3	4	5	6

問 12 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」で何を優先しますか。
あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれ1つお答えください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい
7. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先したい

(1) あなたの希望
左記から1つ選んで
番号を下記に記入

(2) あなたの現実（現状）
に最も近いもの
左記から1つ選んで
番号を下記に記入

【64歳以下の女性の方で、現在、無職の方（学生除く）への質問です（そうでない方は問16へ）】

問 13 あなたは今後、働きたいとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 働きたい
2. 働きたくない → 問 14 へ
3. どちらとも言えない → 問 14 へ
4. その他（具体的に) → 問 14 へ

【問 13 で「1」働きたいと回答した方にお聞きします】

問 13-1 今後、働きたいが、現在働くことができない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 保育所に入所できなかったため
2. 延長保育や一時預かり、休日保育など保育サービスが身近にないため
3. 仕事内容、勤務場所、勤務時間等について条件に合う働き口が見つからないため
4. 家事で夫、パートナー、家族などの協力が得られないため
5. 育児で夫、パートナー、家族などの協力が得られないため
6. 看護・介護で夫、パートナー、家族などの協力が得られないため
7. 看護・介護で施設やサービスを利用できないため
8. 働くことについて夫、パートナー等家族の同意が得られないため
9. 働くと家族に迷惑がかかると感じるため
10. 仕事と家庭の両立をうまくやっていく自信がないため
11. 仕事に必要な能力があるか不安があるため
12. 職場での人間関係をうまくやっていけるか不安なので
13. その他（具体的に)

【全員にお聞きします】

問 14 女性が仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 賃金、仕事内容など労働条件面での男女差をなくす
2. パート、派遣労働等の労働条件を改善する
3. 労働時間の短縮や休日の増加、就業時間に柔軟性を持たせ、働きやすい労働条件とする
4. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ：性的いやがらせ）のない職場をつくる
5. 女性に対して研修や職業訓練の機会を確保する
6. 女性に対して昇進、昇給の機会を確保する
7. 女性自身が意欲・能力を高める
8. 育児・介護のための休業制度、諸手当を充実する
9. 託児施設、託児サービスを充実する
10. 介護施設、介護サービスを充実する
11. 育児・介護等で退職した後に再雇用する制度を充実する
12. 家事・育児・介護は女性がするものという社会の意識を改める
13. その他（具体的に)
14. わからない

問 15 出産・子育て・介護などの理由で、仕事を辞めた女性が再就職しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 就職情報や職業紹介などの相談する機関や窓口の充実
2. 技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実
3. 育児・介護などの退職者した後も希望すれば元の職場に戻る制度の普及
4. 企業経営者や職場の理解
5. 労働時間の短縮、フレックスタイム制など柔軟な勤務制度の導入
6. 育児や介護のための施設やサービスの充実
7. 夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、看護などへの協力
8. その他（具体的に)
9. わからない

地域活動について

問 16 あなたは、地域社会において、現在どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

1. 趣味や教養のサークル活動
2. P T A 活動など、子どものための活動
3. 婦人会・青年団活動・老人クラブ活動
4. 町内会・自治会活動
5. スポーツ・健康づくりのためのサークル活動
6. 女性問題の学習や男女共同参画のための活動
7. 社会問題や環境問題などの活動
8. 人権に関する活動
9. N P O (特定非営利団体) 活動
10. 子育て支援サークル
11. 介護・福祉分野のボランティア活動
12. 介護・福祉分野以外のボランティア活動
13. その他 (具体的に)
14. 参加していない

【問 16 で「参加していない」と答えた方におたずねします。】

問 17 参加していないのはなぜですか。(〇は3つまで)

1. 社会活動に関心がないから
2. 地域で興味や関心の持てる活動が行われていないから
3. 仕事が忙しく時間がないから
4. 家事・子育て・介護が忙しくて時間がないから
5. 自分の体調がすぐれないから
6. 家族の理解や協力が得られないから
7. 経済的な負担が大きいから
8. 地域活動に関する情報が少ないから
9. 活動するための施設が近くにないから
10. 人間関係がわずらわしいから
11. その他 (具体的に)

老後の生活について

問 18 あなたは老後をどのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 自分ひとりで暮らしたい | 2. 夫婦だけで暮らしたい |
| 3. 家族や身内と暮らしたい | 4. 家族や身内とは別に生活するが近くで暮らしたい |
| 5. 老人ホームなどで暮らしたい | 6. 気のあった高齢者と同じ屋根の下で共同生活したい |
| 7. その他(具体的に |) |

問 19 老後の不安や悩みは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 配偶者に先立たれること | 2. 生活費のこと |
| 3. 健康のこと | 4. 面倒をみてくれる身寄りがないこと |
| 5. 適当な話し相手が近くにいないこと | 6. 安心して住み続ける住宅がないこと |
| 7. 家の跡継ぎがないこと | 8. 適当な趣味や仕事がないこと |
| 9. 不安に思っていることはない | 10. その他(具体的に |
| |) |

問 20 あなたは、高齢者の介護支援について、どのようにお考えですか。
(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 基本的には家族が行うことであり、社会が支援する必要はない |
| 2. 基本的には家族が行うことではあるが、社会がある程度支援する必要がある |
| 3. 家族だけでは過重な負担がかかるので、社会が積極的に支援する必要がある |
| 4. 家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである |
| 5. その他(具体的に |
| 6. わからない |

問 21 現在あなたの家族に介護が必要な方がおられる場合、その方の介護は主にどなたがしていますか。
(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------------------------|----------|--------------|----------|
| 1. あなた | 2. 配偶者 | 3. 男の子ども | 4. 女の子ども |
| 5. 子どもの妻 | 6. 子どもの夫 | 7. その他の親戚(|) |
| 8. 知人・友人 | 9. ヘルパー | 10. その他(具体的に |) |
| 11. 在宅介護はしていない(施設介護である) | | | |
| 12. 介護が必要な人はいない | | | |

問 22 あなた自身が介護が必要になったとき、どなたに介護してもらいたいですか。
(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 自分の配偶者 | 2. 自分のきょうだい | 3. 自分の息子 |
| 4. 自分の娘 | 5. 自分の息子の妻 | 6. 自分の娘の夫 |
| 7. ホームヘルパー | 8. その他(具体的に |) |

配偶者等からの暴力について

問 23 あなたは、配偶者（事実婚や別居中、元配偶者も含む）や交際相手からの暴力について、身近で見聞きしたことがありますか。（〇はいくつでも）

1. 家族や知人などから相談されたことがある
2. 身近に当事者がいる
3. 身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある
4. 身近で見聞きしたことはない
5. その他（具体的に)

【問 23 で「家族や知人などから相談されたことがある」「身近に当事者がいる」と答えた方にお聞きします】

問 24 そのことを知ってどうしましたか。（〇はいくつでも）

1. 被害者と一緒に病院や相談機関に行った
2. 被害者に相談機関を紹介した
3. 被害者をかくまったり、家を出ることに援助をした
4. 配偶者暴力相談支援センターや警察に通報した
5. 加害者に暴力をやめるように話した
6. 被害者にがまんするように話した
7. 何もできなかった
8. 何もする必要はないと思った
9. その他（具体的に)

問 25 あなたは、配偶者（婚姻届を出していない事実婚や別居中、元配偶者も含む）や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

ア～クについて、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。

	1、2度 あった	何度も あった	まったく ない
ア 殴ったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
イ 殴るふりをしておどす	1	2	3
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
エ 人格を否定するような暴言を受けた	1	2	3
オ あなた、もしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
カ 嫌がっているのに性的な行為を強要された、また、避妊に協力しないことがあった	1	2	3
キ 生活費を渡さない、借金を強いる、ことをされた	1	2	3
ク 親兄弟、友人とのつき合いを禁止・制限する	1	2	3
ケ 交友関係を細かく監視されたり、電話・メール・SNSをチェックされた	1	2	3
コ SNS、WEB上での誹謗中傷や嫌がらせをされた	1	2	3

【問 25 で「1、2度あった」「何度もあった」と答えた方におたずねします。】

問 26 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

1. 警察に連絡・相談した
2. 法務局や人権擁護委員に相談した
3. 配偶者暴力相談支援センター、女性相談所、男女共同参画センターなどに相談した
4. その他の公的機関に相談した
5. 民間（NPOを含む）の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセリング機関、民間シェルター）などに相談した
6. 医療関係者（医師、看護師、助産師など）に相談した
7. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）に相談した
8. 家族や親戚に相談した
9. 友人知人に相談した
10. その他（具体的に _____）
11. どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）→問 30 へ

【問 25 で「どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」と答えた方にお聞きします。】

問 27 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも)

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもムダだと思ったから
4. 相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 世間体が悪いから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. 自分にも悪いところがあると思ったから
11. 相談するほどのことではないと思ったから
12. その他（具体的に _____）

問 28 あなたはこれまでに職場や学校、地域などで次にあげるア～キのようなセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）やジェンダーハラスメントを受けたことがありますか。
あてはまるものにそれぞれ1つ○をつけてください。

※セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）とは 相手の意志に反して不快や不安な状態に追い込む性的な言葉や行為 ※ジェンダーハラスメントとは・・・性に関する固定観念または差別意識に基づく 嫌がらせ	受けたこ とがある	受けたこ とがない
ア 性的な言葉によるからかい（性的な冗談、性的な体験談を話す・聞く）	1	2
イ 食事等へのしつこい誘い、宴会でのお酌やデュエット等の強要	1	2
ウ ヌード写真やポスターの掲示、わいせつな週刊誌やスポーツ誌の閲覧	1	2
エ 不必要に体を触ったり、性的関係を強要する	1	2
オ 性的なうわさをながす	1	2
カ 結婚、離婚、恋人、妊娠、子どもの有無等についてあれこれ言う	1	2
キ 女性という理由でお茶くみ、後片付け、私用等を強制される	1	2

【問 28 でア～オのセクシュアル・ハラスメントを受けたことがあると回答した方へお聞きします。】

問 28-1 あなたは誰かに相談しましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 相談した | 2. 相談していない |
|---------|------------|

【上記で「相談していない」と回答した方へお聞きします。】

問 28-2 相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 相談する窓口がない |
| 2. 相談しても無駄だと思うから |
| 3. 相談したことがわかると仕返しされると思ったから |
| 4. 相手が組織のトップや地域の有力者だから解決できる人がいない |
| 5. 相談すると組織や地域に居づらくなるから |
| 6. 自分さえ我慢すれば、何とかなると思うから |
| 7. 相談するのが恥ずかしいから |
| 8. 相談するほどの事ではないと思ったから |
| 9. その他 () |

問 29 配偶者等からの暴力やセクシュアル・ハラスメント、性暴力など女性に対する暴力をなくするために、取り組みを進める必要があるのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 法律・制度の見直しを行う |
| 2. 犯罪の取り締まりを強化する |
| 3. 女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする |
| 4. 被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる |
| 5. 加害者に対して必要なカウンセリングをする |
| 6. 男性相談窓口の充実 |
| 7. 家庭や学校において男女平等等について教育を充実させる |
| 8. メディアが社会問題として取り扱う |
| 9. 過激な内容のDVDやゲームソフト等の販売や貸出しを制限する |
| 10. その他 (具体的に) |

性の多様性について

問 30 あなたは、「性の多様性」に関連する次の言葉についてご存じですか。（それぞれひとつ選ぶ）

	聞いたことがあり、 意味も知っている	聞いたことはあるが、 意味は知らない	知らない
性的少数者（セクシュアルマイノリティ）	1	2	3
LGBT	1	2	3
LGBTQ	1	2	3
カミングアウト	1	2	3
アウトティング	1	2	3
SOGI	1	2	3

■セクシュアルマイノリティとは：

同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のことをいいます。「性的少数者」ともいいます。「異性を愛するのが普通だ」とか、「心と体の性別が異なることなどない、性別は男と女だけである」としている人からみて少数者と言う意味です。

■LGBT：以下の頭文字

L（レズビアン）：女性の同性愛者

G（ゲイ）：男性の同性愛者

B（バイセクシャル）：両性愛者

T（トランスジェンダー）：生まれたときの法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと望む人

■LGBTQ：LGBTに「Q」を加えたもの

Questioning（クエスチョニング） 性的指向や性自認がはっきりしない、決められないあるいは悩んでいる状況にある人

■カミングアウトとは：

自分がセクシュアルマイノリティであることを打ち明けること

■アウトティング

同意なしに他人のセクシュアリティを勝手に公表すること

■SOGIとは

性的指向（好きになる相手の性）と性自認（こころの性）を意味する言葉で、同性愛者の人や身体的性別に違和感を持っていない人も含め、全ての人に関わる概念

問31 あなたは、今までに自分の体の性、心の性または性的指向に悩んだことがありますか。

1. はい 2. いいえ

問32 性的少数者（セクシャルマイノリティ）であることを打ち明けられたことがありますか。

1. ある 2. ない

問33 性の多様性について、どのようなお考えをお持ちですか。（ひとつ選ぶ）

1. 性的少数者を性の多様性として認める必要がある
 2. 身近な問題だと思う
 3. 理解に努めようと思う
 4. 個人の趣味、趣向の問題である
 5. 一部の人のこと、身近な問題ではない
 6. 理解ができない
 7. その他（ ）

問34 家族や友人など身近な方から性的少数者、LGBTであることを打ち明けられたとしたら、あなたはどう思いますか。（ひとつ選ぶ）

1. 理解したいと思う
 2. 応援したいと思う
 3. いままで通り接する
 4. 距離を置きたいと思う
 5. その時にならないと分からない
 6 その他（具体的に ）

問35 LGBTの方が困難に感じるとしたら、どんな場合だと思いますか。（複数回答可）

1. 職場や学校等でいじめ、いやがらせを受ける
 2. 自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強制される（トイレ、着替え、服装など）
 3. 申請書などへの性別の記入
 4. 家族、友人等、周囲の理解が得られない
 5. カミングアウトした後に周囲の態度が変化する
 6. 偏見、差別がある
 7. 就職、仕事、待遇等で不利、不当な扱いを受ける
 8. 同性のパートナーとの関係を認めてもらえない
 9. 法整備が不十分
 10. 本人の了承なしに性的指向や性自認を暴露される
 11. その他（ ）
 12. 困難を感じないと思う

問 36 性的少数者、LGBTの方々に対する偏見や差別などをなくすために、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 県民全体に対する啓発
2. 幼少期からの教育
3. 相談窓口の設置
4. 社会制度（法制度等）の整備
5. 社会環境（トイレ・更衣室等）の整備
6. 教育現場における環境整備
7. 行政職員や教職員に対する研修
8. 企業等に対する啓発
9. 同性同士のパートナーであることを証明する行政の証明書等の発行
10. 必要なものはない
11. その他（具体的に)

男女共同参画行政について

問 37 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。次のア～カについてあてはまるものを1つだけ選んでください。

	内容もよく知っている	内容は少し知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
ア 女性活躍推進法	1	2	3	4
イ DEIGOプラン(第5次沖縄県男女共同参画計画)	1	2	3	4
ウ 多様性社会(ダイバーシティ)	1	2	3	4
エ ジェンダー	1	2	3	4
オ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	1	2	3	4
カ 沖縄県男女共同参画センター「ているる」	1	2	3	4
キ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3	4

問 38 女性の社会進出は進みつつありますが、自治体の首長(知事や市町村長)や議員、企業の管理職などはまだ女性が少ないのが現状です。このように女性の参画が少ない理由は何だと 思いますか。(○は1つだけ)

1. 男性優位の社会の仕組みや制度がある
2. 女性は指導力が低いというような女性の能力に対する偏見がある
3. 女性の能力発揮のチャンスが男性と同じように与えられていない
4. 「女はでしゃばるものではない」という社会通念がある
5. 女性の登用に関する認識や理解が足りない
6. 地域の会長や政策決定の場に出られるような女性の人材がいない
7. 男性になる方がよい(なるものだ)と思っている人が多い
8. 女性自身が役職に対する関心やチャレンジ精神がない
9. 家族の理解や協力が得にくい
10. その他(具体的に)

問 39 沖縄県男女共同参画センター「ているる」では、男女共同参画社会づくりを目指した様々な事業を実施していますが、今後、拡充してほしい事業は何ですか。(○は3つまで)

1. 男女共同参画社会に関する学習・講座開催(女性問題など)
2. 職業上役に立つ講座やセミナーの開催(就職、法律、起業に関する事等)
3. 女性問題などに関する調査・研究
4. 芸術や文化、暮らしに役立つ講座やセミナー
5. 情報提供(図書、ビデオ、インターネット、広報啓発誌など)
6. 交流の場の提供(ロビー、交流室、活動室など)
7. 学習・研究活動の場の提供(会議室、研修室など)
8. 実習活動の場の提供(料理教室、茶室など)
9. 相談室(家庭内の問題、法律、健康に関する事など)
10. 出張講座(各地域に財団が外向いて講座を主催する)
11. その他(具体的に)

問 40 男女共同参画社会の実現を目指して、今後、県や市町村はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。各項目について、①重要度と②優先度をそれぞれひとつお選びください。

	①重要度					②優先度				
	非常に重要	ある程度重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない	非常に優先すべき	やや優先すべき	どちらとも言えない	あまり優先すべきではない	まったく優先すべきではない
学校現場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生涯学習の場における男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
広報誌やパンフレットで男女の平等と相互の理解や協力についての啓発を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
男性に対する意識啓発を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
女性に対する意識啓発を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
職場における男女格差是正、労働時間短縮、育児・介護休業制度の普及促進を図る	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
育児・介護の支援充実や就労環境の整備など、仕事と家庭・地域生活の両立を支援する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
配偶者等に対する暴力(セクハラ、DVなど)の根絶と被害者に対する支援を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
女性の社会参画を促進するための研修などを充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
相談窓口を充実する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
県や市町村の審議会など、政策・方針を決定する場への積極的な女性の登用を図る	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
性の多様性に関する意識啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※男女の性別にとらわれず、男性も女性もそれぞれの個性や能力が尊重され、共に輝いて生きることができ
る豊かな男女共同参画社会を実現していくため、あなたのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書
きください。

さいごに、あなたご自身のことについてお尋ねします

A あなたの性別は

1. 女性 2. 男性 3. その他

B あなたの年齢は

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

C あなたの職業は（出産休暇、育児等で休業中の方は働いているものとみなします）

1. 正社員（一般職）	事業主・ 家族従業員	9. 農業・林業・漁業	
2. 正社員（技術職）		10. 商工業・サービス業 （卸・小売店、飲食店等サービス）	
3. 管理職・会社役員		11. 自由業 （開業医師、弁護士、芸術家など）	
4. 公務員		その他	12. 主夫・主婦
5. 契約社員、派遣社員			13. 学生
6. 常勤パートタイマー	14. 無職		
7. 臨時・アルバイト			
8. 内職			

D あなたは、現在結婚していますか。（○は1つだけ）

1. 結婚している	4. 死別
2. 結婚していないがパートナーと暮らしている	5. 未婚
3. 離別	

【Dで「1. 結婚している、2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」を選んだ方にお聞きます。】

D-2 あなたの配偶者（パートナー）の職業についてお答えください。

（出産休暇、育児等で休業中の方は働いているものとみなします）

1. 自営業	4. 無職
2. 雇用者（常勤：フルタイム）	
3. 雇用者（非常勤：パート・アルバイト）	

E お子さんはいらっしゃいますか。（成人または別居している子どもも含みます）

1. 子どもはいない
2. いる ⇒ 合計 _____人

【Eで「2. いる」を選んだ方にお聞きます。（2名以上いらっしゃる場合は、当てはまる項目すべてに○をつけてください）】

1. 就学前	5. 大学生（短大、大学院含む）
2. 小学生	6. 専修学校・各種学校生
3. 中学生	7. 就職している
4. 高校生	8. その他の無職

F あなたの世帯は次のどれにあたりますか。

1. 単身世帯（1人）	4. 親と子どもと孫
2. 夫婦（パートナー）のみ	5. その他（具体的に _____）
3. 親と子ども	

令和2年度 男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査

令和3年1月発行

編集発行 : 沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL 098-866-2500

調査委託 : (株)アドスタッフ博報堂・(株)MEDIAFLAG沖縄共同企業体
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-17-5 美栄橋ビル
TEL 098-862-1422(代)